



平成 30 年 11 月 9 日

各 位

上場会社名 株式会社 新川
 代表者 代表取締役社長執行役員 長野 高志
 (コード番号 6274 東証第一部)
 問合せ先責任者 取締役専務執行役員
 経営管理本部長 森 琢也
 (電話番号 03-5937-6404)

平成 31 年 3 月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 30 年 8 月 10 日公表した通期業績予想を取り止め、現時点で策定可能な第 3 四半期連結累計期間の業績予想を公表いたします。

記

平成 31 年 3 月期第 3 四半期 (累計) 連結業績予想数値 (平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期 純利益	1株当たり 四半期 純利益
前回発表予想(A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回修正予想(B)	9,300	△2,130	△2,130	△2,220	△122.11
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期第 3 四半期実績 (平成 30 年 3 月期第 3 四半期)	10,508	△531	△349	△424	△23.34

平成 31 年 3 月期通期 連結業績予想数値 (平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期 純利益	1株当たり 当期 純利益
前回発表予想(A)	百万円 18,900	百万円 △1,270	百万円 △1,330	百万円 △1,500	円 銭 △82.54
今回修正予想(B)	—	—	—	—	—
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期通期実績 (平成 30 年 3 月期)	15,214	△620	△488	563	31.00

修正の理由

データエコノミー時代の到来による半導体市場の中長期的な拡大と増産投資が期待される状況に変化はありませんが、直近、米国と中国との貿易摩擦が深刻化して「米中新冷戦」とも言える様相を呈する中、半導体製造装置市場を牽引してきたメモリ市場や中国市場において設備投資の延期や凍結の動きが顕在化しており、投資の減速が当期中に解消するのかどうか、政治的な要因の影響も含めて今後の市場動向を見極めるのがきわめて困難な状況になっています。このため、現在の引き合いに対して予想される収益の振れ幅があまりにも大きく合理的な予想が困難であるため、本年8月に修正開示した通期連結業績予想を取り止め、現時点で策定可能な第3四半期連結業績予想のみを開示します。

なお、第3四半期における半導体業界につきましては、スマートフォン市場の伸び悩み、メモリ価格の下落の影響などにより、半導体市場の成長は鈍化しており、メモリ、ロジック関連での投資の冷え込みの影響はしばらく続く見通しで、投資再開まではしばらく時間がかかると想定しています。当社グループでは、引き続き、将来の市場回復を見据えた最先端の研究開発投資や本年6月にグループ入りしたPFAとのシナジー追求による売上拡大、オペレーションの効率化などに取り組むことで、将来に向けた企業価値向上を目指します。

為替の想定換算レートは、110円/米ドルです。

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により、記載の予想数値と異なる可能性があります。

以 上